

SDGsの土台を知る

長野県上田染谷丘高校 1年5組 松澤瑠奈

15 陸の豊かさも 守ろう

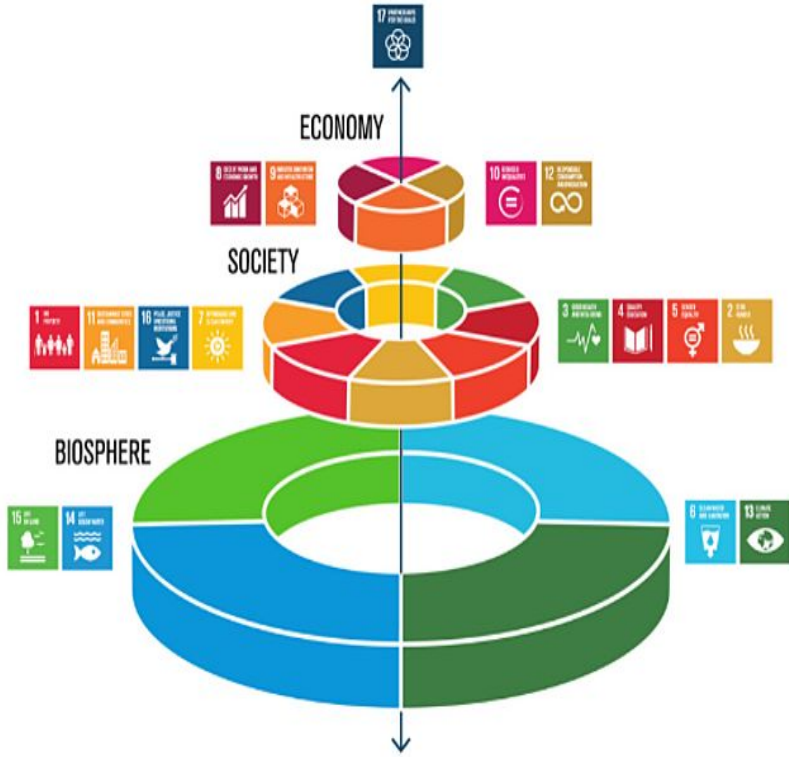


* 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進

* 持続可能な森林の経営、砂漠化への対処

* 土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、
多様な生物が生きられる環境を 守る
ことを目指している



環境、社会、経済とまるでウェディングケーキのように重なる構造は、17の目標それぞれの関係性を示し、目標15を含む自然環境の目標が土台となっている



海洋資源や陸上の生態系が互いに命を育み、社会を支え経済が発展する。地球で暮らす生態系を守ることは、地球が存続するもっとも重要な部分。

SDGs17の全体像

日本の現状



実は日本は世界から見ても『森林大国』

⇒国土の67%(3分の2)が森林
その面積は約2,500ヘクタール

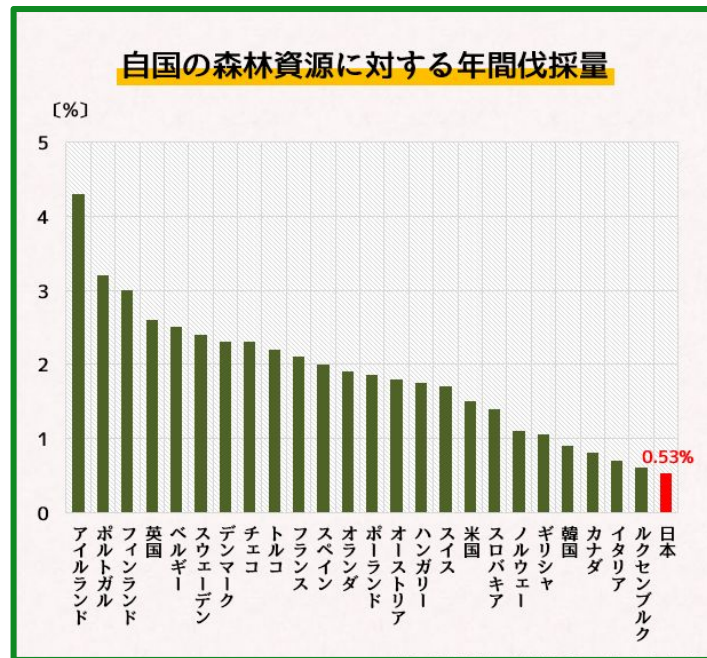
過去40年間、日本の森林面積は横ばい
急激に増えているわけでも減っているわけ
でもない



なぜかというと....

森林の管理をする林業従事者の高齢化が進んでおり、討伐せずに放置される木
が多くあるため

また、日本で使用されている木材は海外からの輸入木材が大半

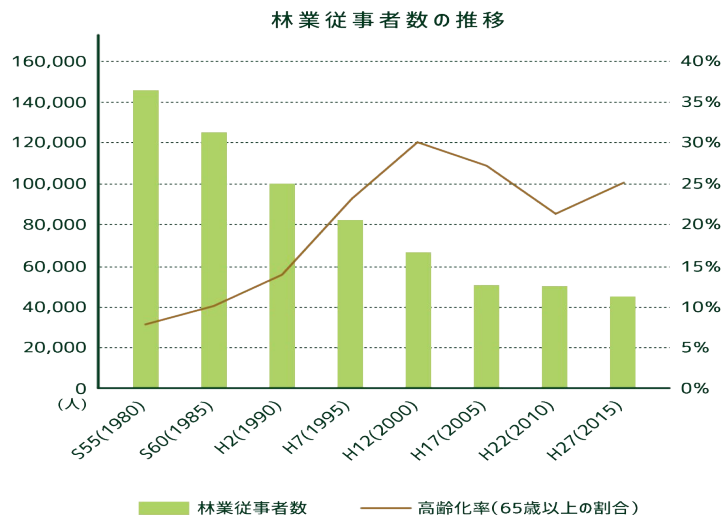


➡ 日本の課題

林業従事者の減少 & 高齢化により、森林の少子高齢化が進んでいる

- ・高齢化した樹木は幅が太くなるため住宅用木材としての利用が難しい
- ・管理されなくなった森林に樹木が蓄積することで若い樹木が育つ場所がなくなる

また国内木材を使わない分を海外から輸入しているため海外の負担が大きい

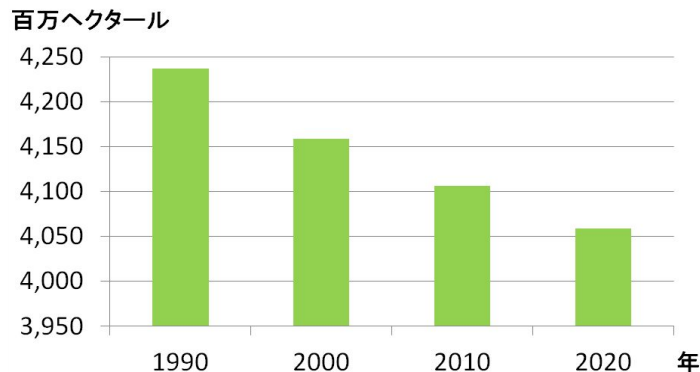


一方で...世界の現状

6秒ごとにサッカー競技場と同じ面積の森林が失われている

約1万年前、世界には森林が62億haもあったが、その後、自然環境や生態系に配慮しない森林伐採や人口増加による森林の都市化、砂漠化や干ばつといった気候変動の影響などによりその面積は変化し、現在では31%の森林がなくなり、約40億6,000万haまで減少した

世界の森林面積の推移



森林の減少は生物の多様性の減少にもつながっており、IUCN(国際自然保護連合)は、評価済みの約142,577種の生物のうち40,000種(約28%)以上に絶滅の危惧があると報告している

→ 世界の課題

生物多様性の崩壊

ひとつの種の生き物が絶滅すると、その種を利用して生きている種が絶滅に向かい負の連鎖が生じる。つまり多様性を失うことで人間も自然の恩恵を受けられなくなる。

地球温暖化

森林は二酸化炭素を吸収し酸素をつくり出すというはたらきがある。しかし、森林減少面積は増え続けており、温暖化はさらに深刻な状況になると危惧されている。

砂漠化

土地の劣化に直面した住民が、生活のために手つかずの森林に過剰伐採を行い、砂漠化を加速させるという悪循環に陥っている。
また、降雨量の減少により、さらに土地の乾燥化が進行している。

etc...

解決策の第一歩とは...

**私達一人ひとりが世界の状況について意識し
今できることを考え行動する**

ことだと私は考えます

なので今回は森林破壊の現状と課題を知った上で
私達にできることを考えました

～高校生の私達にできること～

* 森林破壊について自分が知ること多くの人に知ってもらうこと

⇒やはりまずは『知る』ことをしないと行動に気持ちは伴いません

また他の人に知ってもらうことは大変なように聞こえますが、例えばスマホで SNSを
チェックしている時、企業の取り組みを見たら”いいね！”を押したり シェアするだけでも
効果があると思います

* 環境保全、動物保護を行っている団体を応援

* 使い捨てのものは避けてゴミを減らす

* 買い物をするときには森を守るFSCマークの製品を選ぶ
ようにする



10代からの提言

・森林の持続可能な形での管理を目指そう

林業従事者の減少 & 高齢化もあり森林の管理が行き届いていないと思います。なので、少しでも多くの人に森林に対して興味を持ってもらえるような活動をしていくべきです。

・放置竹林の竹の活用

竹は繁殖力が強いという特徴があり、そのため放置された竹が樹木を侵食してしまっています。しかし、竹の繁殖力が強いという特徴を上手く活用することで木材のかわりを果たせたら最高ですね。

感想

SDGs15「陸の豊かさも守ろう」を調べて

今回、日本そして世界の森林の状況が私が思っているよりも深刻な状態だとわかりました。

世界と比べてみると小さな話ですが、私の住む家の目の前には自然豊かな山があります。季節ごとに色を変える木々に包まれたその山の自然が私は大好きです。そんな景色を今後数百年後の人々も体感できるような未来を作りたいと思います。